



## マーケティング支援(消費財・サービス)事業

### 事業概要

独自に収集した各種パネル調査やカスタムリサーチから得られたデータを基に、高度なリサーチ技術やデータ解析力などを駆使し、消費財メーカーをはじめとする多種多様なお客様のマーケティング活動をトータルサポートしています。当社グループの収益の柱となっているパネル調査の売上の安定性をベースに、刻々と変化する生活者の環境や価値観に対応した新たな調査手法やサービスを次々に開発。さらに、近年ではシナジーのある他社との業務提携を積極的に行い体制の強化や効率化を図ることで、顧客の裾野を拡大し、継続的な成長を遂げています。

### 事業会社

- 株式会社インテージ
- 株式会社インテージリサーチ
- 株式会社アクセス・ジェーピー
- 株式会社IXT
- 株式会社インテージコンサルティング
- 海外子会社

### 2018年3月期の業績のポイント

当事業は、カスタムリサーチの既存調査およびインターネット調査、官公庁案件などが好調に推移し売上が増加しました。あわせて、中長期的な提供サービス領域の拡充を視野に、2017年10月にはパネル調査の主力商品であるSRIのリニューアルを公表し、顧客ニーズの探究、設計変更、開発、新たなデータの収集などを行っています。また、既存サービスの売上が順調に拡大する中、将来的なサービスの開発に寄与するR&D活動への投資を積極的に進め、その結果、上記のような投資も進めた結果、増収減益となりました。

当事業の連結業績は、売上高が前期比5.6%増の331億86百万円、営業利益が前期比9.3%減の21億65百万円となりました。

### 2019年3月期の方針

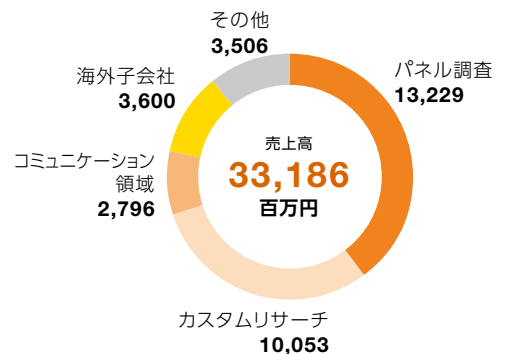
本セグメントにおける最も大きな事業会社である株式会社インテージでは、デジタル化の進化により複雑化しつつあるお客様のマーケティングアクションとして寄り添うべく、当社が保有するデータ、ハンドリング技術、リサーチ機能、生活者に対する理解力をベースとした、さまざまなサービスを提供していきます。また、それらのサービスを組み合わせることで、マーケティング課題の解決、マーケティングPDCAに貢献できる存在を目指していきます。

2019年3月期においては、新たなサービスの開発やSRIのリニューアル、あわせて中長期的な成長に向けたR&D活動に重点的に取り組んでいく予定です。

### 主なお客様の業界

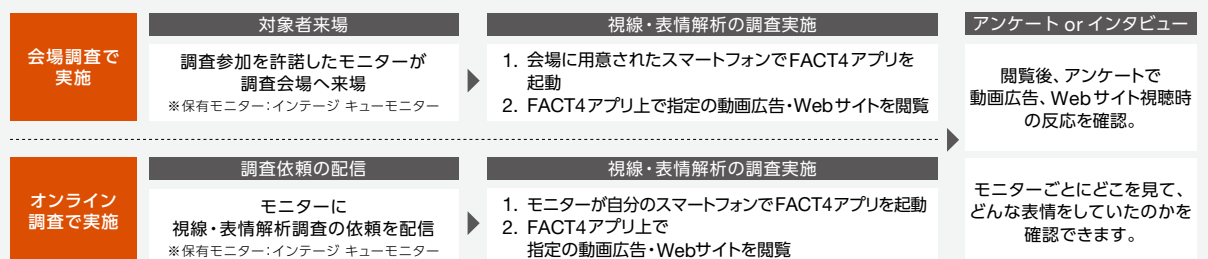


### サービス別売上高内訳



### TOPIC “新たなリサーチ手法” 視線・表情解析サービス

株式会社インテージは、株式会社ウェブレッジ(福島県郡山市)との業務提携により、マーケティング分野においてスマートフォン<sup>\*1</sup>を活用した視線・表情解析のサービス<sup>\*2</sup>を開始しています。ウェブレッジ社が提供する「FACT4」というツールを用いて、スマートフォンのインカメラで動画広告やWebサイトを見た人の視線や表情を自動で取得・解析し、その人が動画広告やWebサイトのどいういったエリアを見ているか、どいういった反応をしているかなどを同時に評価することができます。2017年6月には会場調査で、2018年1月にはオンライン調査でのテスト開始を公表しました。



\*1 現状はiPhoneのみが調査対象

\*2 対象者に特別な機材を身に付けてもらうことなく、スマートフォンのみを用いた「日常生活に近い環境」での視線・表情解析調査が可能です。



## マーケティング支援(ヘルスケア)事業

### 事業概要

製薬メーカー様の医薬品開発とマーケティング活動をサポートするためのサービスとして、一般用医薬品・医療用医薬品のマーケティングリサーチ、CRO(医薬品開発業務受託機関)および処方情報分析などを展開しています。当事業においては、生活者、患者、医療従事者を対象とした豊富な調査経験によって得た知見とノウハウ、システム構築力を活かした付加価値の高いソリューションの提供が競争力の源泉となっています。

### 事業会社

- 株式会社アンテリオ
- 株式会社アスクレップ
- 株式会社医療情報総合研究所
- 株式会社プラメド
- Plamed Korea Co., Ltd.
- 株式会社京都コンステラ・テクノロジーズ

### 2018年3月期の業績のポイント

当事業は、株式会社アスクレップ(以下、アスクレップ)において医薬品の製造販売後調査および株式会社アンテリオ(以下、アンテリオ)におけるプロモーション活動の評価サービスなどが好調で売上が拡大しました。半面、人手不足の問題により一部受注制限を行ったほか、アンテリオにおいて既存サービスの商品価値向上のための投資を実施、さらに、前年まで発生していた大型案件の反動があり、利益は微減となりました。一方、アスクレップでは患者会支援サービスの提供を公表し、アンテリオではリーズンホワイ株式会社との資本業務提携を発表するなど、生活者・医療消費者\*に着目した新たな動きを拡大させています。

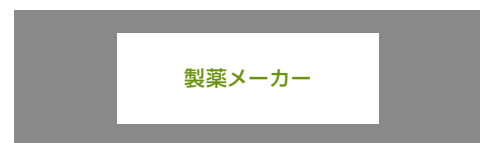
当事業の連結業績は、売上が前期比3.5%増の110億70百万円、営業利益が前期比4.8%減の14億12百万円となりました。

\* 医療消費者：患者や健康を願う生活者の総称

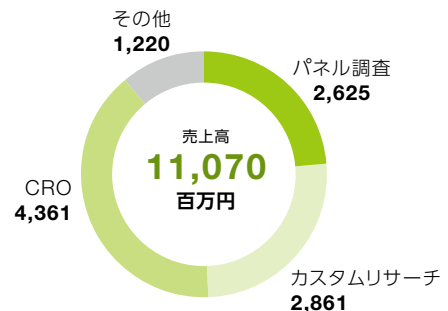
### 2019年3月期の方針

当事業においては、2018年5月11日に「連結子会社間の経営統合の方針決定に関するお知らせ」を公表しており、本セグメントの中核を担っているアスクレップとアンテリオを経営統合するとともに、ヘルスケア領域のその他事業会社を含めたフォーメーションの再構築を行う方針を決定しています。本決定の実行に向けた体制構築を、既存領域の着実な足固めとともに取り組んでいきます。

### 主なお客様の業界



### サービス別売上高内訳



### サービス紹介：CROとEDCシステム“ADDIN”



#### CROとは

新薬の開発は、基礎研究に始まり数多くのフェーズがあり、10年以上もの長い期間と膨大な労力や費用がかかります。その過程の中で、製薬メーカーが行う臨床試験や製造販売後調査などにかかわるさまざまな業務を代行・支援する組織がCRO(医薬品開発業務受託機関)で、インターネットグループではアスクレップがこの事業を展開しています。

#### EDCシステム“ADDIN”シリーズ

従来、「紙」の報告書で行われていた症例報告を電子データで管理できるように開発されたのが、「EDC(Electronic Data Capture: 電子的臨床検査情報収集)システム」です。このシステムの導入により、製薬メーカーやCROは、医師や治験スタッフがパソコンなどの端末に入力したデータをインターネットを介して収集し、リアルタイムで監視しながら管理することが可能になっています。アスクレップでは2004年にEDCソリューションサービスの販売を開始し、製造販売後調査に特化したEDCシステム「ADDIN(アディン)」を2010年にリリースしました。



# ビジネスインテリジェンス事業

## 事業概要

ソフトウェアの開発・販売、システムの運用、維持・管理、データセンター運用のほか、システムの構築・運用による業務プロセス改善の支援など経営戦略的な側面への支援を行っています。当事業においては、最新のIT技術力とマーケティングの知見を融合した独自のアプローチによる課題解決や、業界専門性に裏付けされた独自のシステムサービスの提供を強みとしています。近年では、人工知能(AI)やディープラーニング(深層学習)など、最新IT技術の研究およびサービス開発なども積極的に行っています。

## 事業会社

- 株式会社インテージテクノスフィア
- 株式会社データエイジ
- 株式会社ビルドシステム

## 2018年3月期の業績のポイント

当事業では、企業に存在するあらゆる健康情報(健診・保健指導・残業データなど)を統合管理する健康管理支援システム、ならびに旅行代理店の精算業務に関するシステムの設計・開発の業務の引き合いが活況となり、売上・利益ともに増加しました。また、2018年3月に株式会社ビルドシステムの全株式を取得しインテージグループの一員としています。同社は、開発型の高速・高生産性ツールの開発や導入支援などをメインに手がけているシステム会社で高い技術力を持った技術者を有しており、一体となることでインテージグループの技術力を強化し、データ活用における新たな価値創造を一丸となって推進していきます。

当事業の連結業績は、売上高が前期比6.5%増の62億43百万円、営業利益が前期比12.0%増の4億46百万円となりました。

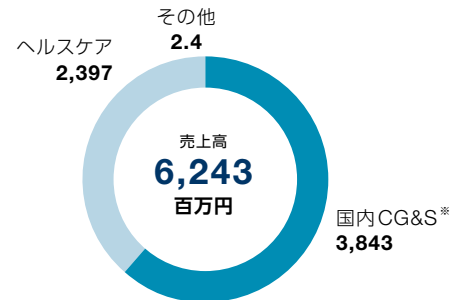
## 2019年3月期の方針

株式会社インテージテクノスフィアが第12次中期経営計画の基本方針として掲げている「データの変革を支えるデータ活用事業の実現」の具現化に向け、好調な医薬や旅行業界のサービスおよびシステムの開発投資を行い、既存事業のさらなる拡大を狙います。さらに、株式会社インテージにて推進しているSRIのリニューアルにおいて重要となるビッグデータ処理のインフラの開発・構築も行うほか、製造業向けAIソリューションなどの受託拡大を目指します。

## 主なお客様の業界



## 分野別売上高内訳



\*CG&S: Consumer goods and servicesの略で、消費財&サービスのこと。

## 株式会社インテージテクノスフィアが展開するサービスと業界・業種

